

# 分野別成果動向一覧 第4章「産業・勤労」

## 《施策別成果動向一覧》

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値			対前年度				
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
農業	25	魅力のある農業を推進する	順調でない	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0
商工業	26	商工業を活性化する	横ばい	1	0	0	1	0	0	2	0	4	0	3	0	3	0
勤労	27	市民の就業を支援する	順調	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	2	0	1	0
消費生活	28	安全な消費生活を支援する	順調でない	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0

## 《まちづくり評価委員会の評価》

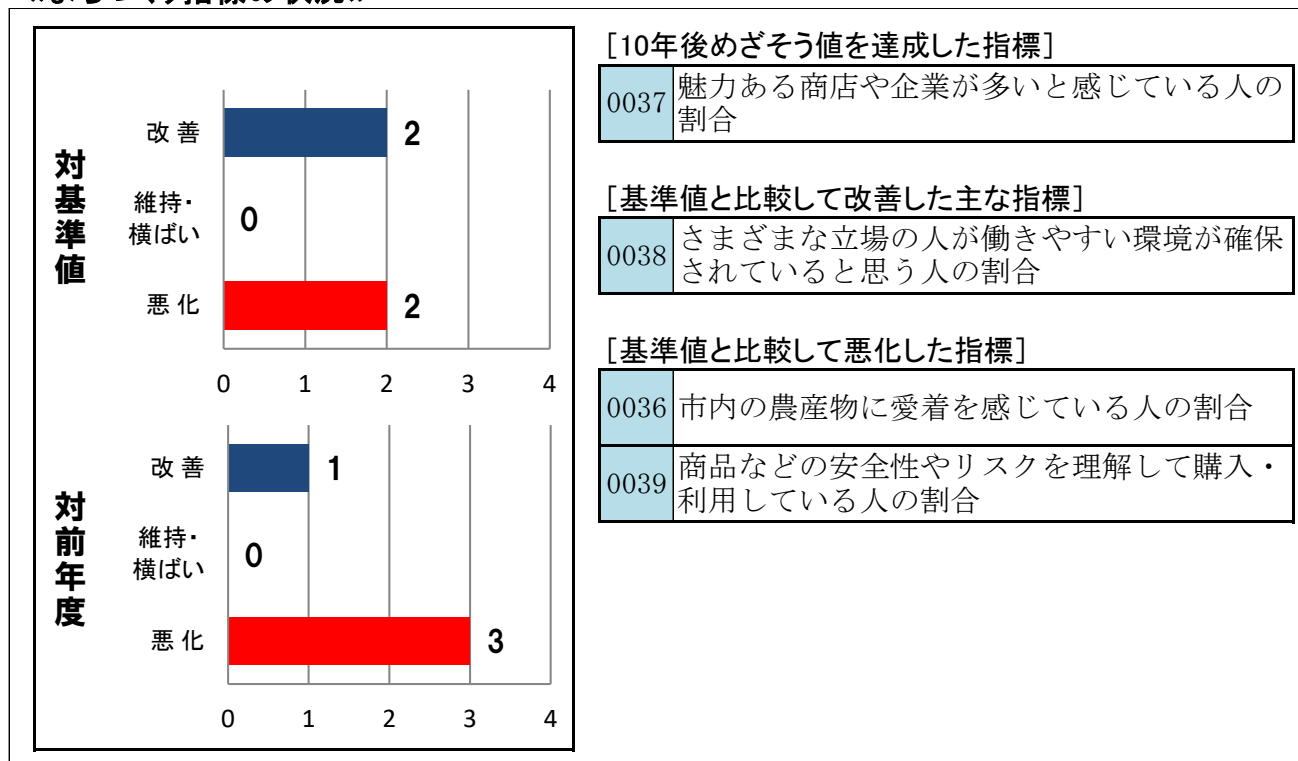
「産業・勤労」分野では、まちづくり指標等の動向から判断して、施策の成果動向は、「順調」が1施策、「横ばい」が1施策、「順調でない」が2施策となり、分野全体の成果動向は、「順調でない」と評価する。

魅力のある農業の推進のため、東海市産の農産物を購入することができる機会の創出により本市で採れる農産物への愛着の向上を図るほか、農業従事者のサポートや遊休農地の活用、後継者の育成支援が必要である。

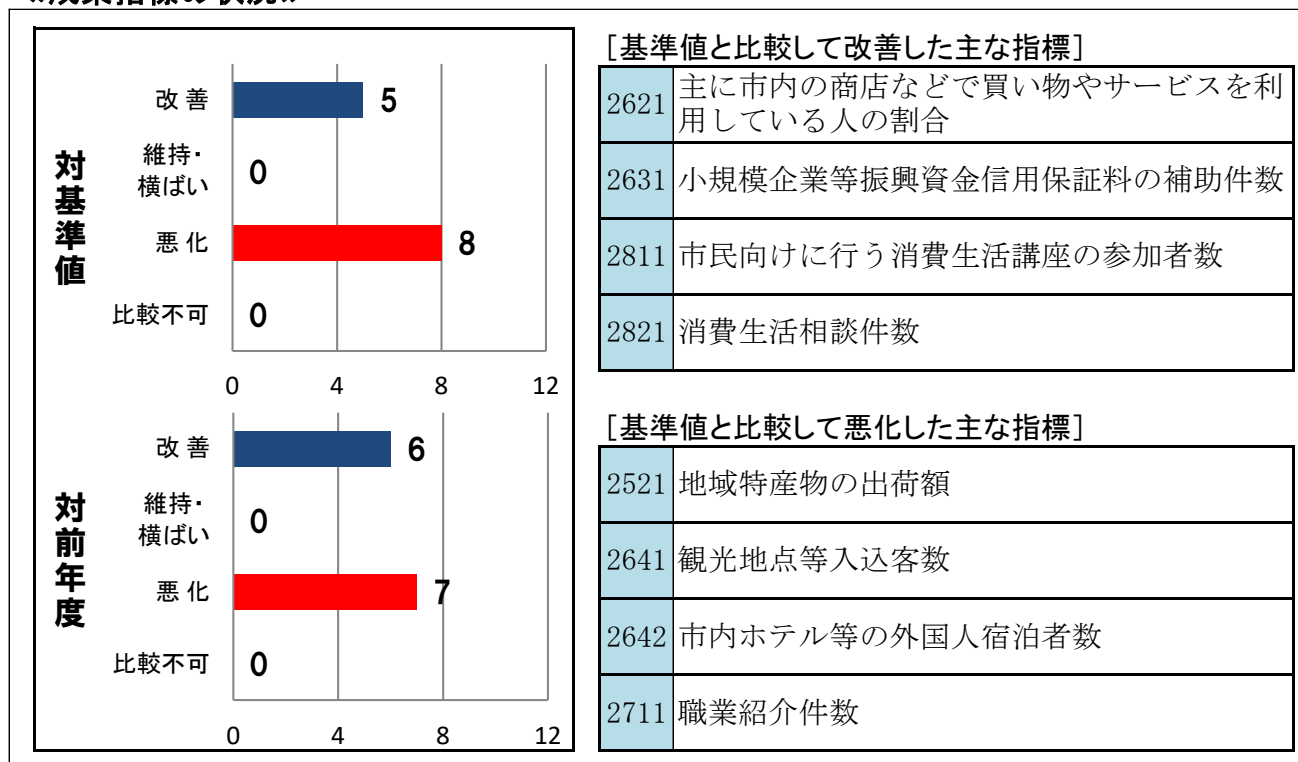
また、商工業の活性化のため、新しい産業の創出への取り組みや安全な消費生活を実施するため、現状を的確に分析し、効果的な取り組みを推進する必要がある。

- [施策25] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。
- [施策26] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。
- [施策27] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」と評価する。
- [施策28] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。

## 《まちづくり指標の状況》



## 《成果指標の状況》



## 《第4章「産業・勤労」指標の状況》

**【まちづくり指標】**「魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合」が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成し、基準値と比較して2指標、分野全体で50.0%が改善した。一方、基準値以下となった指標は「市内の農産物に愛着を感じている人の割合」はじめ2指標（50.0%）となった。

**【成果指標】**「主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合」はじめ5指標、分野全体で38.5%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は、8指標（61.5%）で、前年度より悪化した指標は、7指標（53.8%）となった。

章 04 産業・勤労  
 節 01 農業  
 施策 25 魅力のある農業を推進する

理念 活力

施策主管課【農務課】

### めざすまちの姿

魅力ある農業となっている

### 施策の基本方針（総合計画から抜粋）

魅力のある農業を進めるため、農産物のPRに努めるとともに、農業者の自主性と創意工夫への支援や後継者の育成、また、生産組織の強化を図ります。  
 農地の有効利用と農業用施設の適切な管理に努めます。

### 施策実現のための財源投入状況

(単位：千円)

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	農地の有効利用を進める	147,093	141,522
02	農業経営を支援する	124,895	119,220
施策合計		271,988	260,742

### まちづくり指標の分析

No	0036	市内の農産物に愛着を感じている人の割合	No														
方向性	➔		方向性														
<table border="1"> <caption>指標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>64.4</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>64.8</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>61.3</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>		年	値	H24	64.4	H26	64.8	H28	63.4	H30	67	R02	61.3	R04	70		
年	値																
H24	64.4																
H26	64.8																
H28	63.4																
H30	67																
R02	61.3																
R04	70																
対基準値：7.1ポイント減 / 基準値からの推移：× 10年後めざそう値達成率：-126.8% 男女別：差異有、年齢別：差異有、職業別：差異有 要因：価格高騰で農産物と接する機会が多い主婦や高齢者に指標低下の影響が生じていると考える。																	

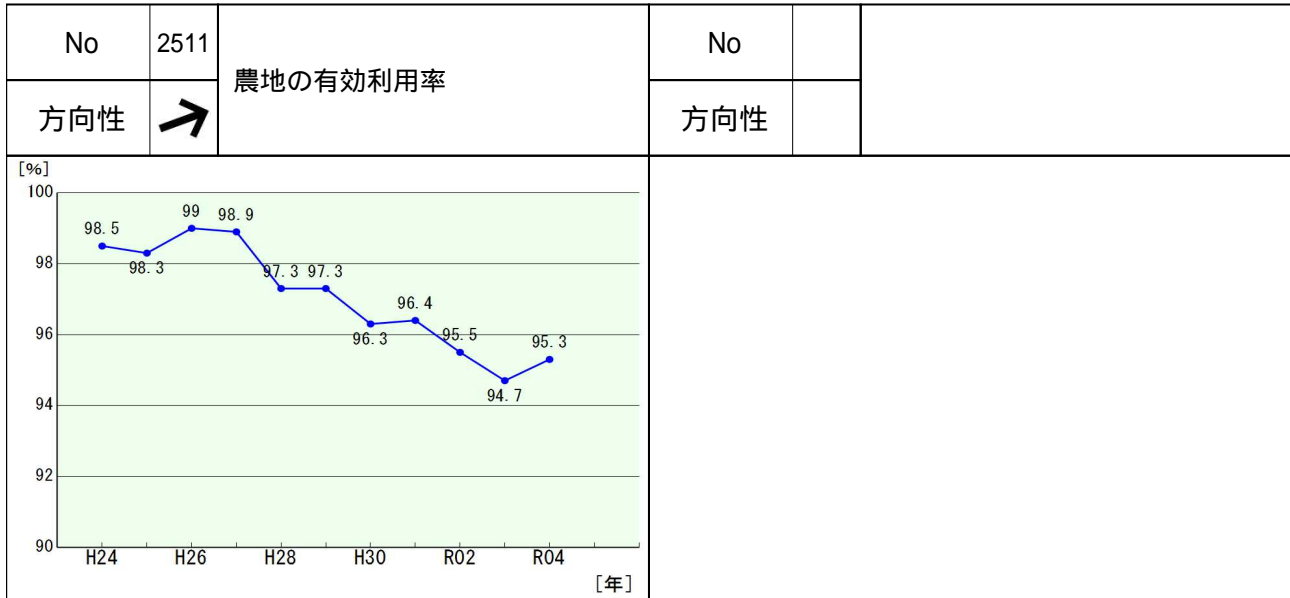
### めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調でないと評価する。  
 まちづくり指標は、基準値から7.1ポイント低下し、職業別では主婦、年齢別では65～74歳の数値が低下している。これは、昨今の物価高騰の影響により、特に市内の農産物に接する機会の多い主婦や高齢者において、市内の農産物への購入意識に変化があったものとする。  
 今後も、関係機関と連携して、農地の有効利用と農業施設の適切な管理に努めるとともに、ブランド化や優良品種の育成等による生産性向上の取り組みを支援し、担い手の育成・確保に努めていく。また、市内の農産物にふれる機会やイベントでのPRを強化し、魅力向上を図っていく必要がある。

施策 25 魅力のある農業を推進する  
 単位施策 01 農地の有効利用を進める

単位施策主管課【農務課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

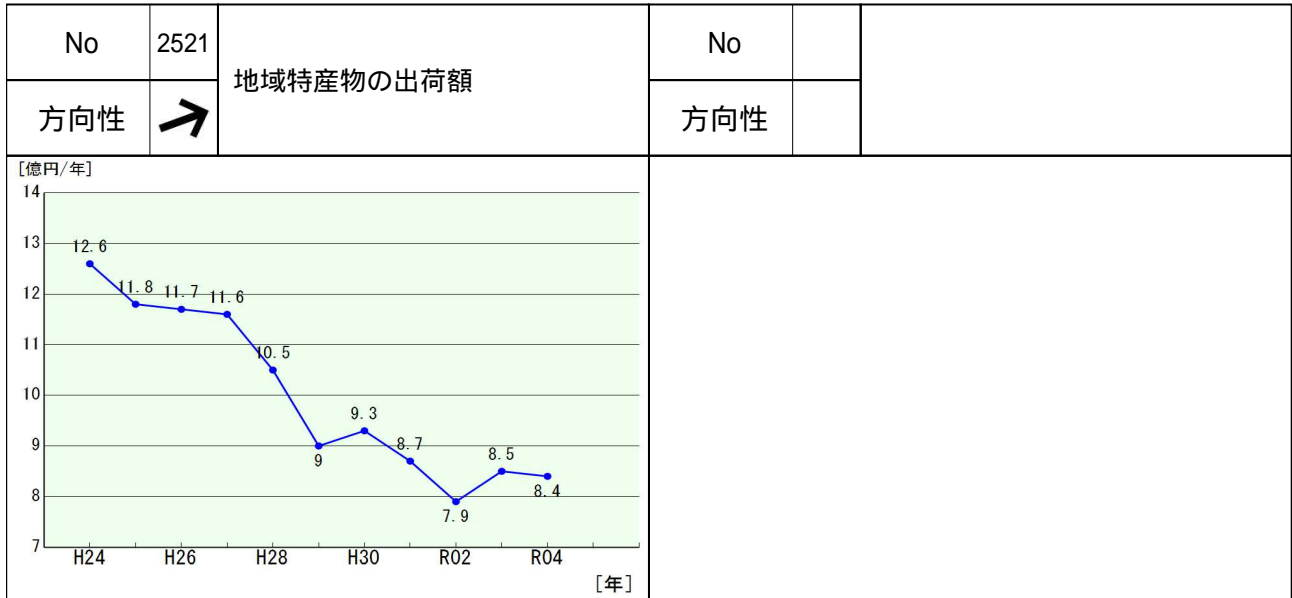
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。  
 成果指標は、基準値から3.2ポイント低下しているが、前年度からは0.6ポイント増加している。これは、遊休農地が農地として有効利用されたことのほか、大規模な開発が進展したことにより、耕作していなかった農地が転用され、他の用途に利用されたことによるものと考えられる。また、基準値からの悪化については、農業者の高齢化及び担い手の減少により耕地面積が減少し、遊休農地が約3倍増加したことが要因と考える。  
 今後は、10年先の農地の利用方法を具体化される地域計画を策定することとなるため、農業委員会と連携しながら、農地の有効利用の向上に取り組んでいく。

施策 25 魅力のある農業を推進する  
 単位施策 02 農業経営を支援する

単位施策主管課【農務課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。  
 成果指標は、基準値から4.2億円、前年度から0.1億円減少しているものの、洋ランはコロナ禍以前まで出荷額が回復し、タマネギは北海道産の不作による価格高騰の影響により出荷額が増加した。一方で、フキは生産量及び出荷額ともに減少しており、担い手の減少によるものと考えられる。  
 今後も引き続き、関係機関と連携し、担い手の確保に取り組むとともに、産地強化やブランド化、園芸施設導入等による採算性の改善、農業経営の体質強化の支援を図る必要がある。

章 04 産業・勤労  
 節 02 商工業  
 施策 26 商工業を活性化する

理念 活力

施策主管課【商工労政課】

### めざすまちの姿

新しい産業が創出されるなど、魅力ある商工業となっており、活性化している

### 施策の基本方針（総合計画から抜粋）

商工会議所や事業所、大学・高校などと連携して、地場産業の振興や新たな結び付けによる事業拡大、特産品の研究・開発を進めるなど、創業と発展的な経営を支援します。  
 あわせて、「東海市中小企業振興基本条例」に基づき、中小企業者に対する支援を進めます。  
 また、交流人口の拡大を目指して観光資源の整備を進めるとともに、事業所などと連携したインバウンド事業を進めます。

### 施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	新たな産業の育成や創業を支援する	80,641	71,009
02	活力ある商業店舗づくりを支援する	22,159	20,948
03	商工業者の経営を支援する	659,227	582,765
04	観光資源を活用し、にぎわいを創出する	151,527	145,626
施策合計		913,554	820,348

### まちづくり指標の分析

No	0037	魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合	No																										
方向性	➔		方向性																										
<table border="1"> <caption>魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合 [%]</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>37.7</td></tr> <tr><td>H25</td><td>34.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>37.2</td></tr> <tr><td>H27</td><td>41.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>39.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>39.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>42.9</td></tr> <tr><td>R01</td><td>40</td></tr> <tr><td>R02</td><td>41.8</td></tr> <tr><td>R03</td><td>44.4</td></tr> <tr><td>R04</td><td>44.4</td></tr> </tbody> </table>			年	割合 [%]	H24	37.7	H25	34.3	H26	37.2	H27	41.5	H28	39.2	H29	39.9	H30	42.9	R01	40	R02	41.8	R03	44.4	R04	44.4			
年	割合 [%]																												
H24	37.7																												
H25	34.3																												
H26	37.2																												
H27	41.5																												
H28	39.2																												
H29	39.9																												
H30	42.9																												
R01	40																												
R02	41.8																												
R03	44.4																												
R04	44.4																												
<p>対基準値：6.7ポイント増 / 基準値からの推移：          10年後めざそう値達成率：106.3%          年齢別：差異無、職業別：差異有、地区別：差異有          要因：若い世代、特に学生が魅力的と感じる商店等が立地していると想定。</p>																													

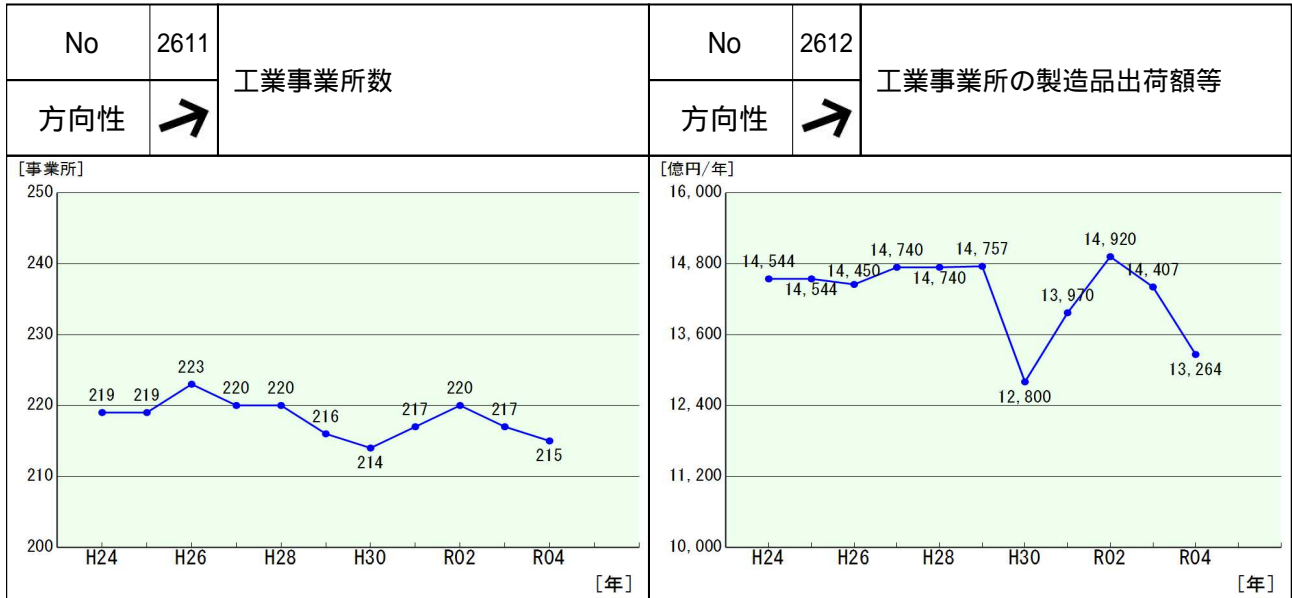
### めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、横ばいと評価する。  
 まちづくり指標は、年代別では16～19歳が63.3%（R3:42.6%）と大きく改善し、10年後めざそう値を達成した。市民・小規模事業者応援商品券の発行などを通じて、より市内の店舗への利用が促進された結果であると考え。一方で、成果指標の「工業事業所数」等は減少しており、世界的な半導体不足等が影響していると推察する。  
 今後も、経済活動の正常化に向けた動きが加速するなか、企業立地の促進や交流人口の拡大などによる市内での消費喚起、事業活動の継続に向けた支援など、幅広い視点での事業展開を推進していく。

施策 26 商工業を活性化する  
 単位施策 01 新たな産業の育成や創業を支援する

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。  
 「工業事業所数」「工業事業所の製造品出荷額等」は、いずれも基準値、前年度現状値よりも減少している。これは、世界的な半導体不足やロシアによるウクライナ侵攻を発端とした原油価格の高騰などによる生産コストの増加が起因していると推察する。  
 今後も地域経済の活性化のため、特産品発掘支援補助事業の継続をはじめ、企業立地の推進や新たな産業の育成、創業の支援を継続して行っていく必要がある。

施策 26 商工業を活性化する

単位施策 02 活力ある商業店舗づくりを支援する

単位施策主管課【商工労政課】

### 成果指標の推移

No	2621	主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合	No		
方向性	➔		方向性		

年	割合 [%]
H24	83.5
H26	81.3
H28	85.3
H30	85.4
R02	84.2
R04	87.7

No			No		
方向性			方向性		

### 単位施策の評価

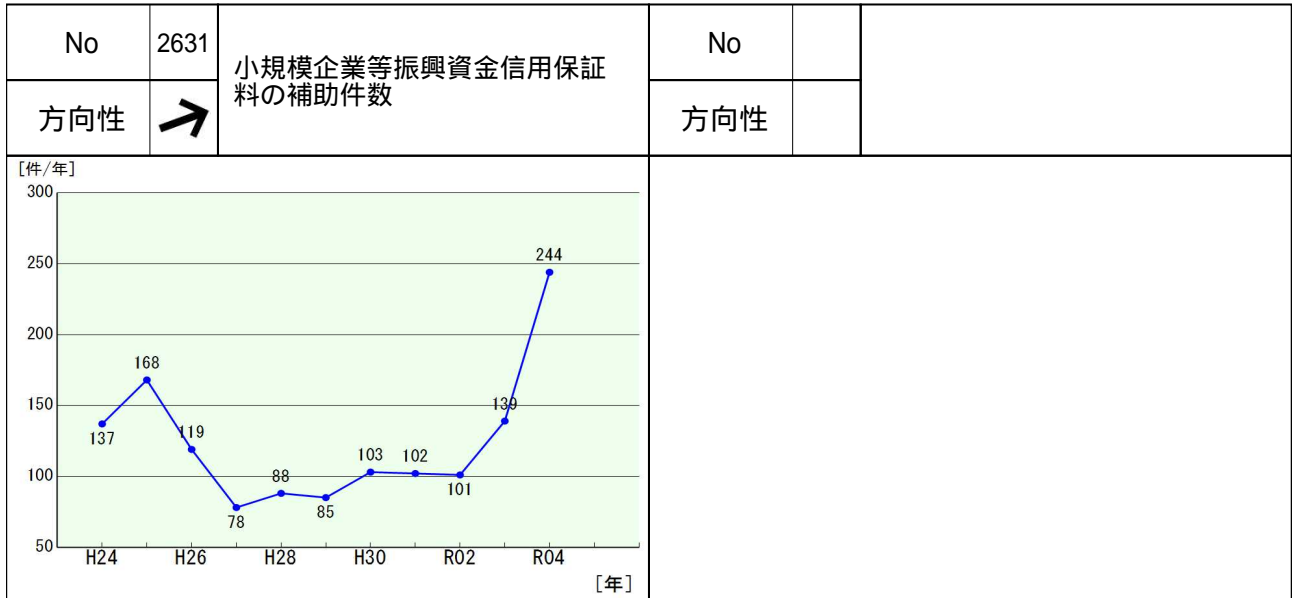
単位施策の成果動向は、順調と評価する。  
成果指標が、基準値から4.2ポイント増加したのは、市民を対象とした市内小規模事業者応援商品券発行事業などを通じて、市内店舗の利用を促進したことが背景にあると考える。  
今後も引き続き、商工会議所と連携し、キャッシュレス化の推進や市内での消費喚起、市内店舗の魅力発信などにつながる方策を実施しながら、活力ある商業店舗づくりを支援していく。



施策 26 商工業を活性化する  
 単位施策 03 商工業者の経営を支援する

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

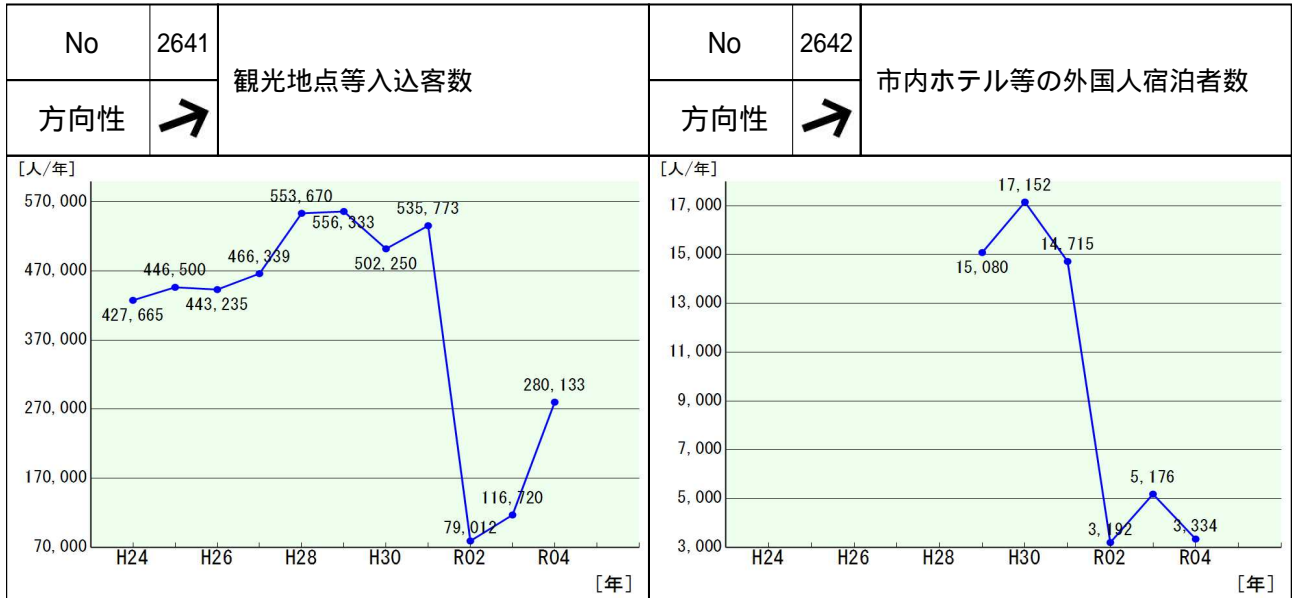
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。  
 成果指標が、基準値から107件、前年度から105件増加したのは、新型コロナウイルス感染症の影響により創設された、無保証料の融資制度が令和2年度に終了したことで、小規模企業等振興資金信用保証料の活用の増加傾向が続いていることが主な要因であり、資金調達に苦慮する事業者への経営支援を行ってきたことによるものと考えられる。  
 今後も既存の制度の利用の増加が想定されるなか、市独自の消費喚起策や事業者支援策など、幅広い視点で商工業者への支援について検討していく。

施策 26 商工業を活性化する  
 単位施策 04 観光資源を活用し、にぎわいを創出する

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないとして評価する。  
 「観光地点等入込客数」は、基準値から147,532人減少し、「市内ホテル等の外国人宿泊者数」は、基準値から11,746人減少している。その理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により東海まつり花火大会が中止になったこと、また外国との往来が規制されていたことにより、外国人の入国が難しい状況であったことが要因と考える。  
 今後は、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント規制の撤廃や国内外の往来の正常化等に伴う観光客の増加が見込まれるなか、イベントの魅力向上や既存の観光資源の磨き上げ等により、にぎわいの創出を図っていく必要がある。

章 04 産業・勤労  
 節 03 勤労  
 施策 27 市民の就業を支援する

理念 いきいき

施策主管課【商工労政課】

### めざすまちの姿

若い世代、女性、障害者、高齢者など就業の場が豊富である

### 施策の基本方針（総合計画から抜粋）

労働問題、職業紹介など労働に関する相談の実施、職業安定所や事業所などから得た情報の提供を行い、障害者や女性などさまざまな人の就業の場の確保と働きやすい環境を整備します。

### 施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	雇用対策を充実させる	61	61
02	勤労者支援を充実させる	141,690	141,368
施策合計		141,751	141,429

### まちづくり指標の分析

No	0038	さまざまな立場の人が働きやすい環境が確保されていると思う人の割合	No															
方向性	➔		方向性															
<table border="1"> <caption>まちづくり指標の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>37.6</td></tr> <tr><td>H26</td><td>38.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>42.5</td></tr> <tr><td>H30</td><td>45.1</td></tr> <tr><td>R02</td><td>49.4</td></tr> <tr><td>R04</td><td>48.0</td></tr> </tbody> </table>		年	割合 [%]	H24	37.6	H26	38.6	H28	42.5	H30	45.1	R02	49.4	R04	48.0			
年	割合 [%]																	
H24	37.6																	
H26	38.6																	
H28	42.5																	
H30	45.1																	
R02	49.4																	
R04	48.0																	
<p>対基準値：10.3ポイント増 / 基準値からの推移：          10年後めざそう値達成率：99.0%          年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異有          要因：学生など若い世代の労働環境やアルバイトなどの求人が好調と想定。</p>																		

### めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調と評価する。

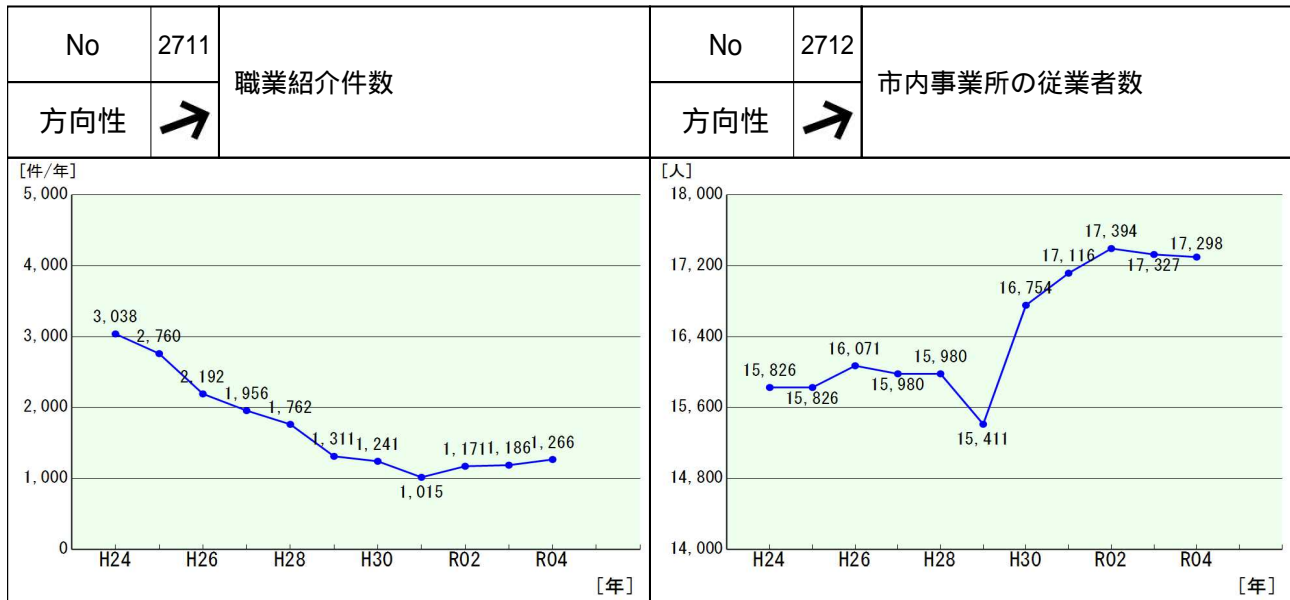
まちづくり指標は、前年度からは減少したものの基準値から順調に推移している。世代別では、16歳から19歳が77.6%（R3:69.5%）となっており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてきたアルバイトなどの求人や労働環境が好転していることがその背景にあると考える。

今後は、労働者保護の観点から行われる制度改正の周知、関係団体との連携を通じて、更なる労働環境の整備を進めていく。

施策 27 市民の就業を支援する  
 単位施策 01 雇用対策を充実させる

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移



No	No
方向性	方向性

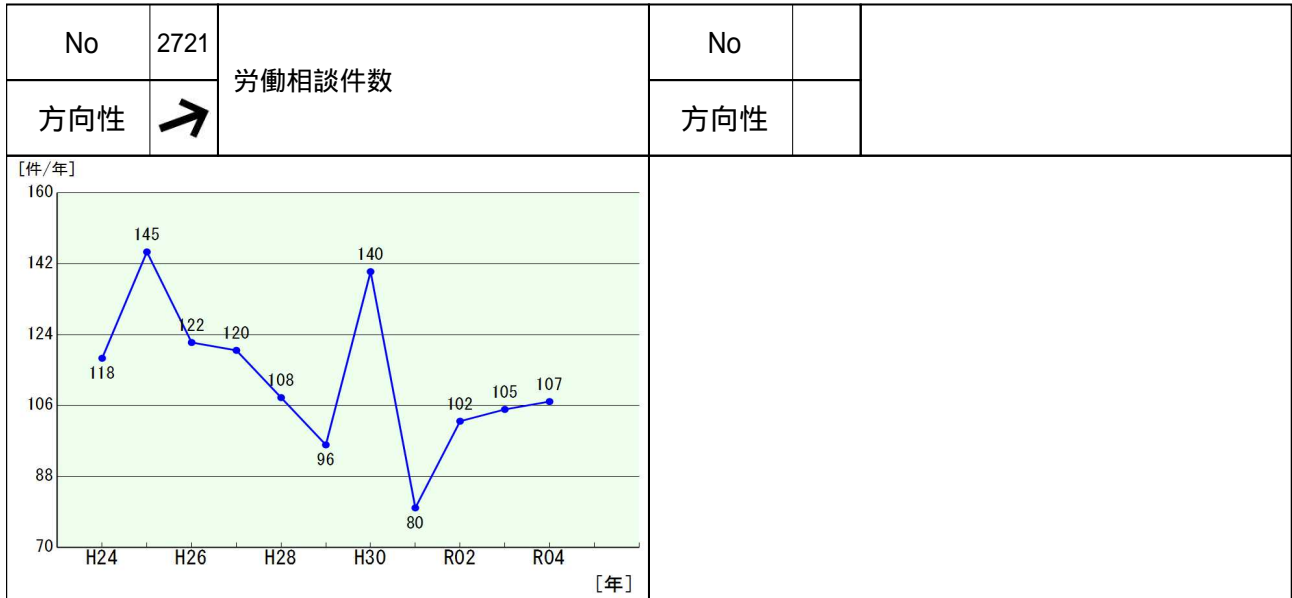
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。  
 「職業紹介件数」は、前年度から80件増加しているものの、基準値よりも低い水準で推移している。従業者数は国の経済センサスの活動調査の結果を用いており、調査対象年度が令和3年度であることから、新型コロナウイルス感染症による指標への影響が懸念されたが堅調な推移となった。  
 物価高騰による雇用環境への影響の長期化が懸念されるなか、多様な就業へのニーズに対応できるよう関係機関と連携を図りながら、職業相談体制のより一層の充実を図っていく。

施策 27 市民の就業を支援する  
 単位施策 02 勤労者支援を充実させる

単位施策主管課【商工労政課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。  
 成果指標は、基準値から11件減少している。新型コロナウイルス感染症の影響により就職先の紹介を目的とした職業相談室への来室者は増加しているが、労働に関するトラブルなどの労働相談件数は少ない傾向にある。  
 今後も、働き方や景気動向など、雇用・就業環境が変化するなか、勤労者の支援に繋がる事業などを通じて就業環境の改善を促進していく。

章 04 産業・勤労  
 節 04 消費生活  
 施策 28 安全な消費生活を支援する

理念 安心

施策主管課【商工労政課】

### めざすまちの姿

正しい知識や情報を得ることができ、消費者が安全な商品を選ぶことができる

### 施策の基本方針（総合計画から抜粋）

消費生活センターの運営により、消費者が安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる社会の実現に向けた情報提供や相談体制を充実します。

### 施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	消費生活に関する情報提供を充実させ、意識の向上を図る	1,529	1,456
02	消費生活に関する相談体制を充実させる	1,951	1,815
施策合計		3,480	3,271

### まちづくり指標の分析

No	0039	商品などの安全性やリスクを理解して購入・利用している人の割合	No		
方向性	➔		方向性		
<p>対基準値：2.9ポイント減 / 基準値からの推移：×          10年後めざそう値達成率：-72.5%          年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異有          要因：若い世代の消費に対する関心が高まっている。</p>					

### めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

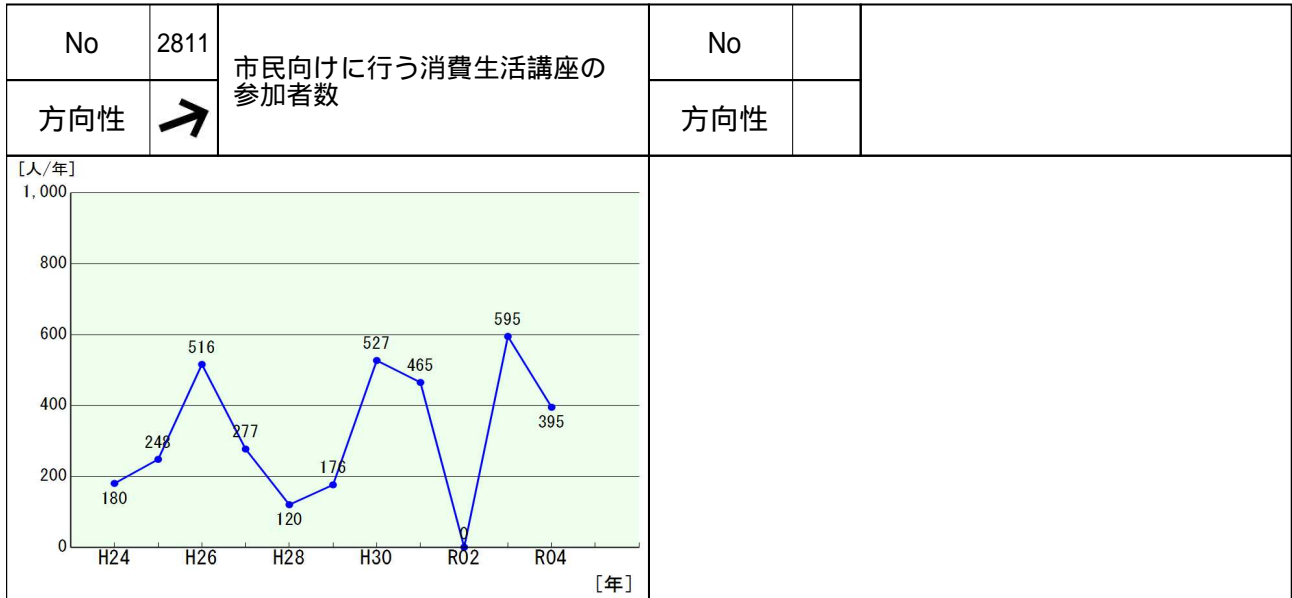
施策の成果動向は、順調でないと評価する。  
 まちづくり指標は、基準値、前年度と比較して2.9ポイント低下した。世代別では16～19歳が67.3%と低くなっているのは、若い世代は、一般的にネットショッピングへの関心は高いと言われているものの、リスク等への理解が深まっていないことが背景にあると考える。  
 今後は、成人年齢の引下げによる消費トラブルの増加や高齢者を狙った詐欺などが懸念されることから、若年層や高齢者を対象とした消費生活講座の開催や情報提供により、消費生活に対する関心を高める取り組みを進める必要がある。

施策 28 安全な消費生活を支援する

単位施策 01 消費生活に関する情報提供を充実させ、意識の向上を図る

単位施策主管課【商工労政課】

### 成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

### 単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。

成果指標は基準値から215人増加した。これは、近年、高齢者からのインターネット通販に関する相談が増加傾向にあることから、令和3年度に引き続き、高齢者大学での講座を開催し、インターネット詐欺等の被害防止のリーフレットを配布するなど、安全な消費生活の啓発活動を実施したためと考える。

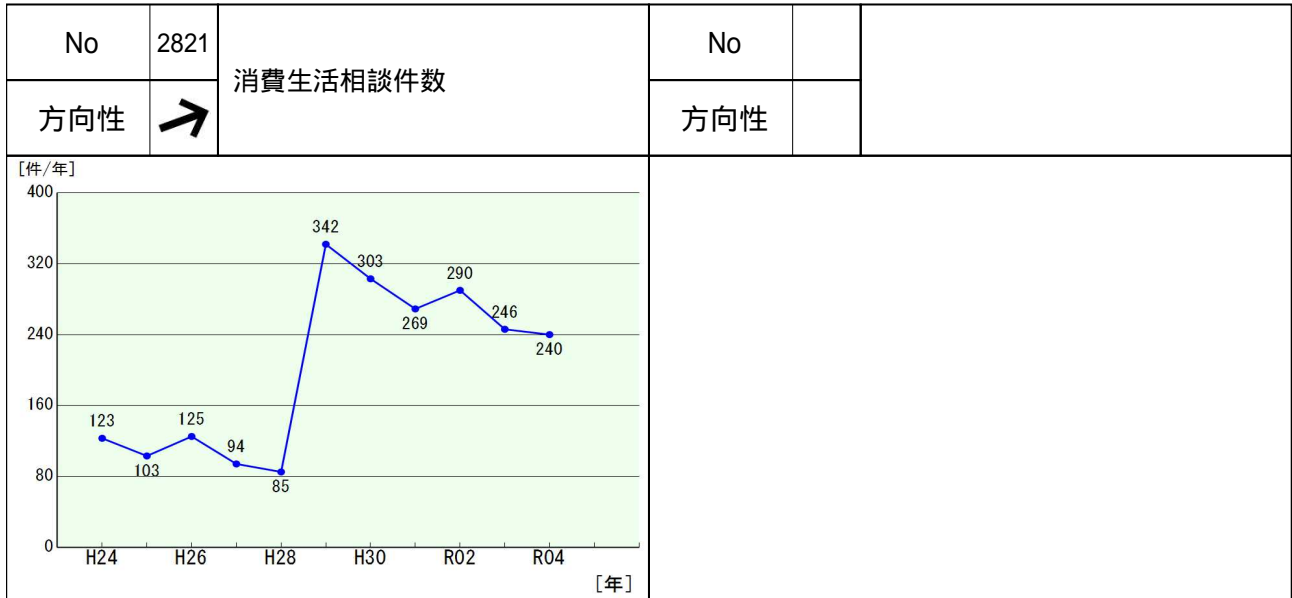
今後は、高齢化の進展や成人年齢の引き下げに伴い、消費者トラブルの増加も懸念されるため、学校や事業所、団体等と連携して啓発活動を行っていく。

施策 28 安全な消費生活を支援する

単位施策 02 消費生活に関する相談体制を充実させる

単位施策主管課【商工労政課】

### 成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

### 単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。

「消費生活相談件数」は、デジタル化の進展により消費者のライフスタイルが変化するなか、平成29年度に設置した消費生活センターの周知が進んだこともあり、インターネットを通じた買い物がきっかけとなったトラブルに関する相談が増加している。

成人年齢の引下げや高齢化の進展など、今後も多様化が懸念される消費者トラブルに適切に対応できるよう、消費生活相談員の研修や意見交換会を実施して相談スキルの向上を図るとともに、消費生活に関する啓発活動や消費生活センターのPRに努めていく。